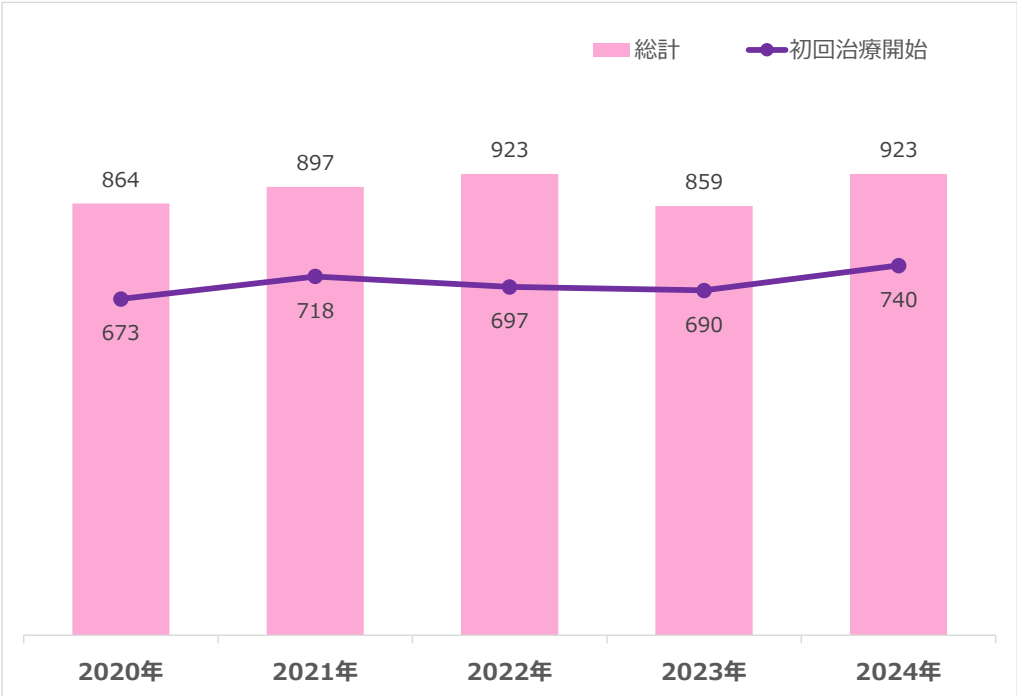


大同病院

●登録件数の推移



●部位別登録件数

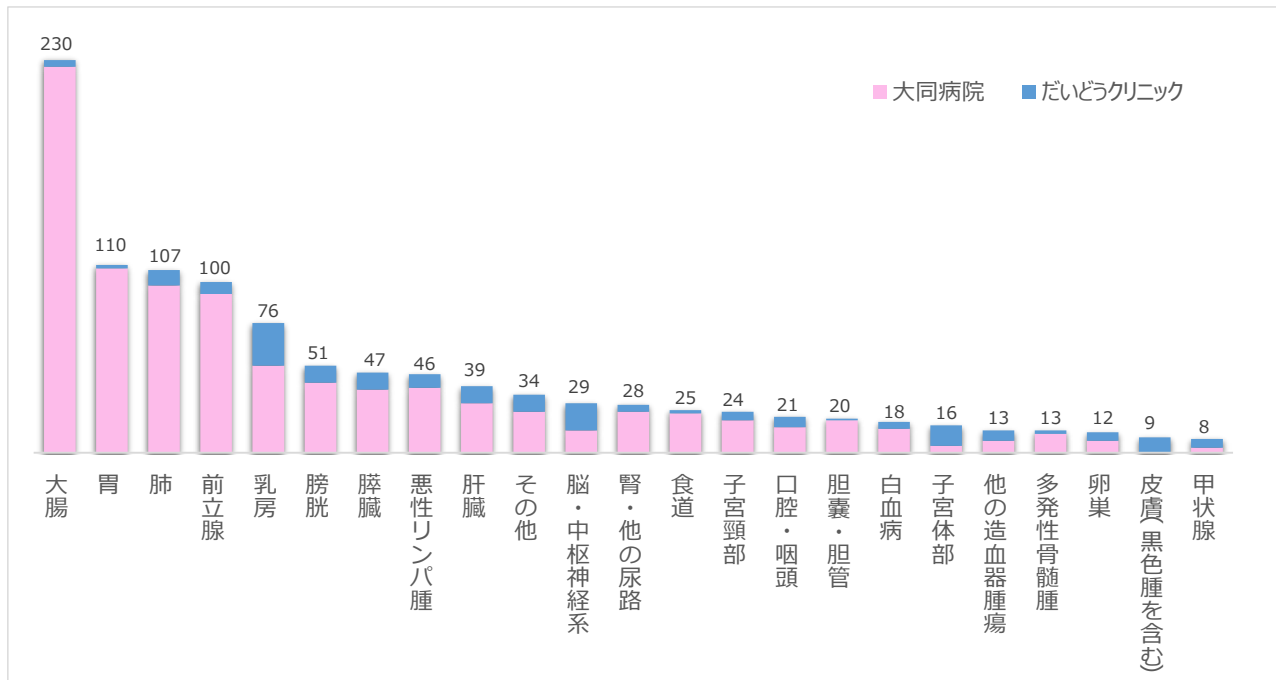
部 位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
口腔・咽頭	0-5	12	10	0-5	11	15
喉頭	0-5	0-5	0-5	0-5	0-5	0-5
食道	35	20	30	30	19	23
胃	123	87	121	94	103	108
結腸	184	132	125	133	119	142
直腸	82	68	66	80	72	84
肝臓	29	28	21	26	18	31
胆嚢・胆管	29	28	27	18	33	19
膵臓	43	41	41	40	29	40
肺	130	118	111	110	87	98
骨・軟部	0-5					
乳房	60	69	77	63	65	58
子宮頸部	9	13	10	0-5	11	20
子宮体部	0-5	0-5	0-5	8	0-5	0-5
卵巣	7	6	0-5	6	0-5	7
前立腺	66	66	73	106	105	93
腎・他の尿路	25	27	17	36	30	24
膀胱	42	24	34	49	42	45
脳・中枢神経系	10	15	19	13	16	13
甲状腺	0-5	0-5	0-5	0-5	0-5	0-5
白血病	18	17	17	19	18	15
多発性骨髄腫	6	9	0-5	8	7	11
悪性リンパ腫	44	46	43	39	36	38
他の造血器腫瘍	22	8	15	11	11	7
皮膚(黒色腫を含む)	0-5					
その他	21	23	26	23	18	22
総計	998	864	897	923	859	923

※がん登録件数が5件以下は「0－5」と表記しています。

大同病院+だいでうクリニック〈2024年症例〉

大同病院とだいでうクリニックを合わせた集計です。

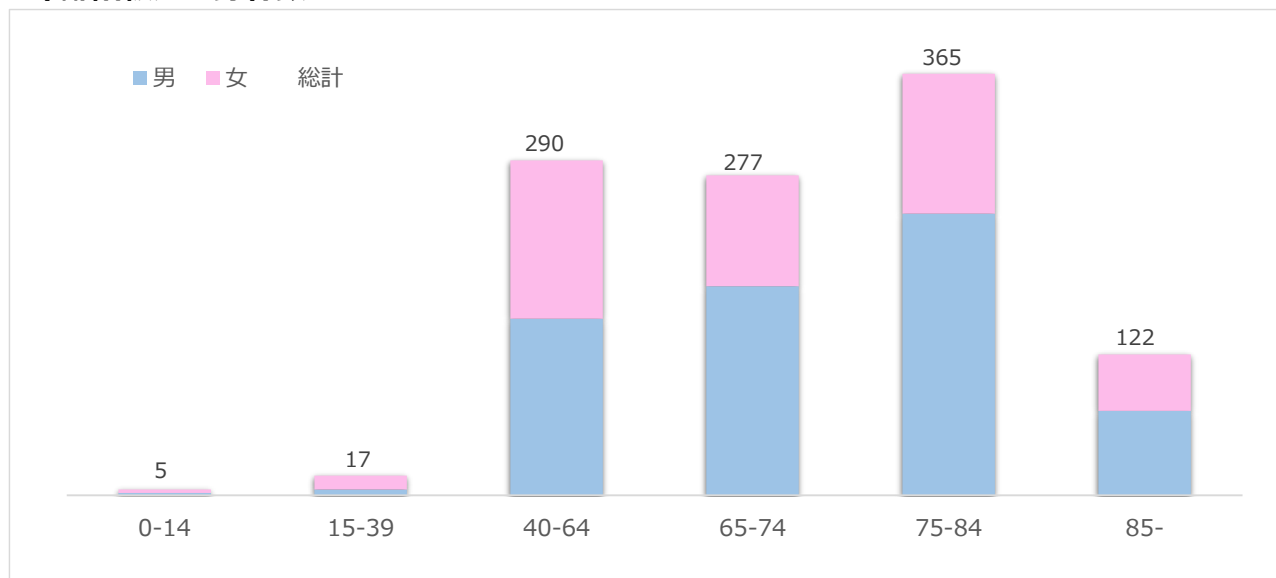
●部位別登録件数



原発巣ごとの登録数です。

2024年では、大腸がんの患者さんが最も多く受診されており、次いで、胃がん、肺がん、前立腺がんの順に受診されています。

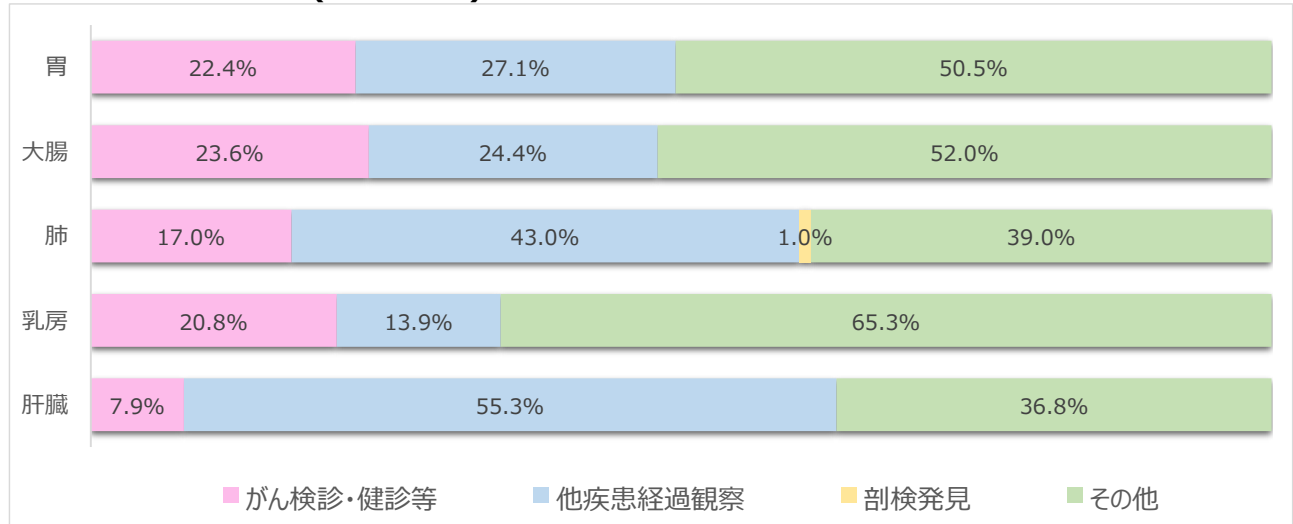
●年齢階級別登録件数



年齢ごとの登録数です。

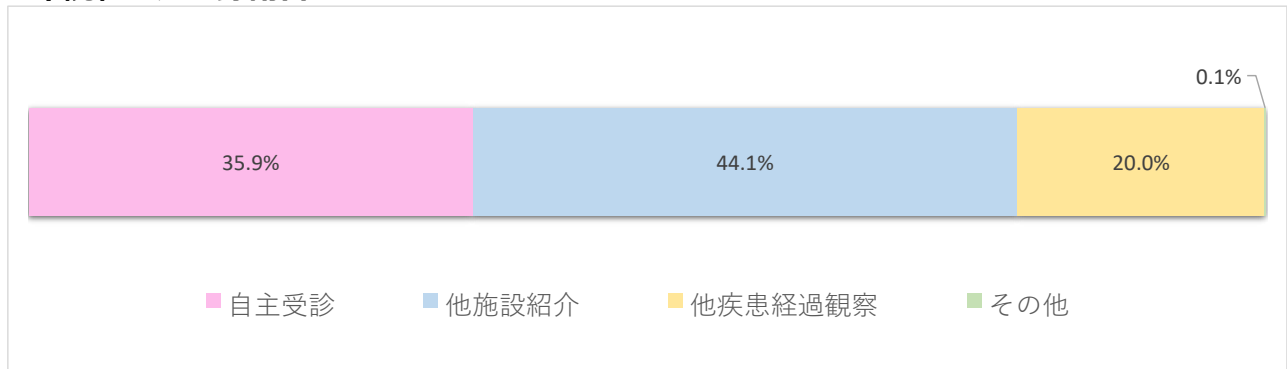
男性と女性の数は大きく変わりませんが、75歳～84歳の患者さんが最も多く受診されています。

●発見経緯別登録割合(主要5部位)



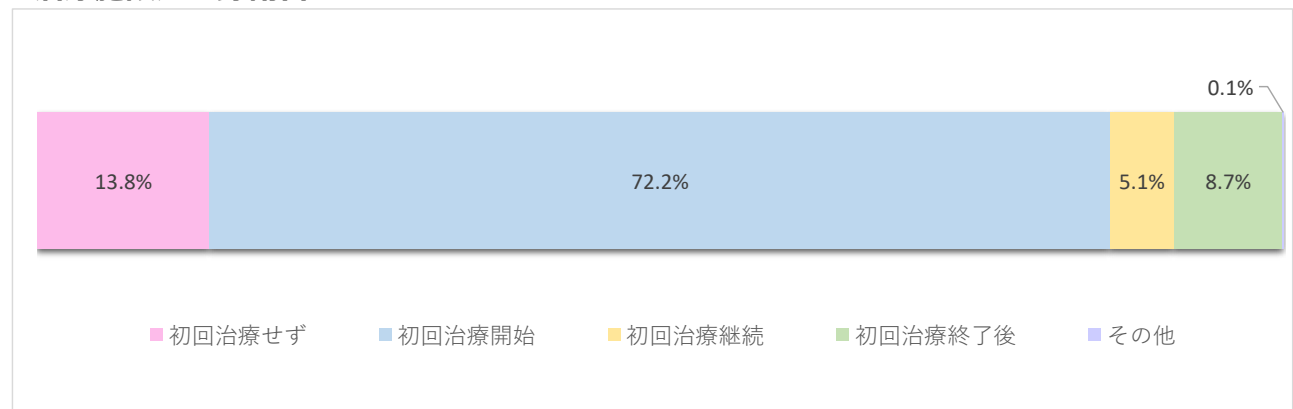
主要5部位の発見経緯ごとの登録割合です。がんが診断される発端となった状況を示します。
グラフで見ると、大腸・胃・乳房はがん検診・健診等が発端となっている割合が大きいです。

●来院経路別登録割合



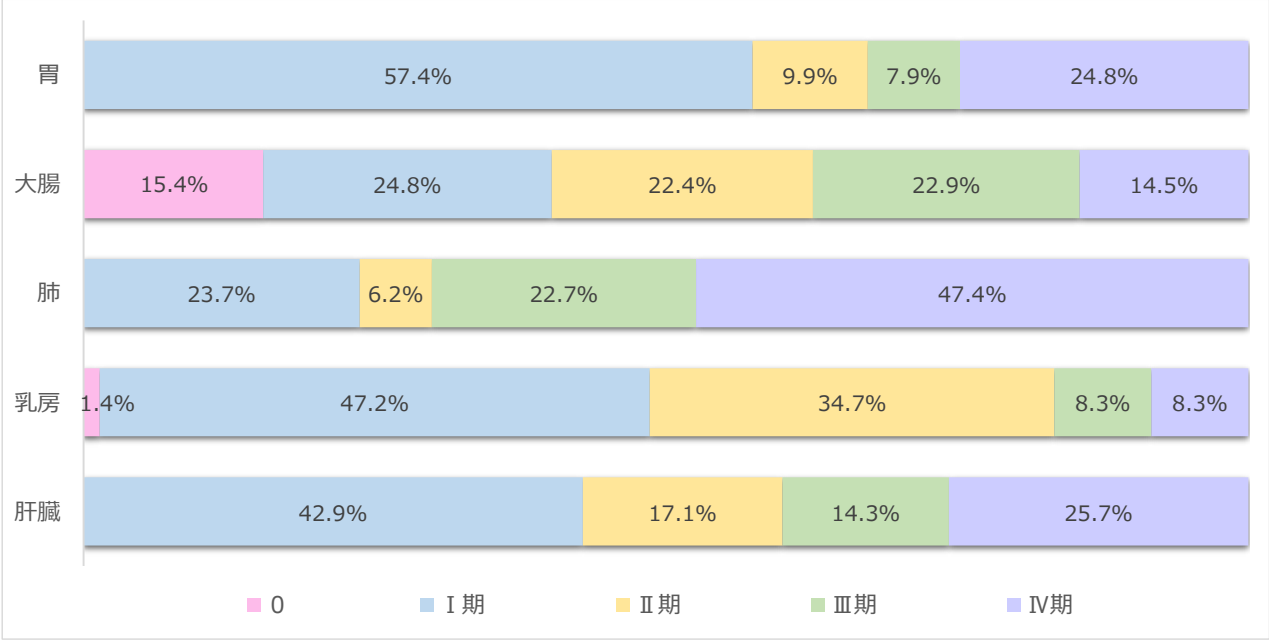
来院経路ごとの登録割合です。がんの診断・治療のためどのように当院を受診したかを示します。
ご自身にて受診された方と他の病院やクリニックからの紹介による方が同じくらいです。

●治療施設別登録割合



初回治療の実施状況についての登録割合です。がん診療の過程における当院の役割を示します。
約7割(水色と黄色)が大同病院 または だいどうクリニックで治療を行っています。

●臨床病期別登録割合(主要5部位)



主要5部位の治療前のステージ(臨床病期)ごとの登録割合です。ステージ不明の数は除いています。
院内がん登録では、国際対がん連合(UICC)第8版での悪性腫瘍の病期分類を使用しています。